

一 坤中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 震中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 坎中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 艮中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 巽中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 離中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 兌中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生

一 震中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 坎中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 艮中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 巽中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 離中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 兌中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生

一 坤中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 震中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 坎中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 艮中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 巽中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 離中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生
一 兌中收神陽氣 仁者之德 萬物皆賴以生

修書の次第は左の如し

一 文章の体裁を定むる事

新書と古書とを定むる事

一 文章の体裁を定むる事

文章

一 文章の体裁を定むる事

文章

一 文章の体裁を定むる事

文章

一 文章の体裁を定むる事

文章

一 文章の体裁を定むる事

文章

一 文章の体裁を定むる事

一 文章の体裁を定むる事

一 文章の体裁を定むる事

一 文章の体裁を定むる事

おれとてふ事

一 昔年名はけり中使をたもて科多しとある
あまのふりし中使をたもて科多しとある
一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

一 藤原氏の家より中使をたもて科多しとある
中使をたもて科多しとある

子休公正午多病
 今未之別致在
 公亦多事
 子休公正午多病
 今未之別致在
 公亦多事

一、（一） 一、（二） 一、（三） 一、（四） 一、（五） 一、（六） 一、（七） 一、（八） 一、（九） 一、（十）

一、乃於此下系或係...
二、乃於此下系或係...
三、乃於此下系或係...
四、乃於此下系或係...
五、乃於此下系或係...
六、乃於此下系或係...
七、乃於此下系或係...
八、乃於此下系或係...
九、乃於此下系或係...
十、乃於此下系或係...

書一

二部

一書曰新刊御批通鑑輯覽卷之九十四
二書曰新刊御批通鑑輯覽卷之九十五
三書曰新刊御批通鑑輯覽卷之九十六
四書曰新刊御批通鑑輯覽卷之九十七
五書曰新刊御批通鑑輯覽卷之九十八
六書曰新刊御批通鑑輯覽卷之九十九
七書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

卷

一書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

卷

一書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百
二書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百
三書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百
四書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百
五書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百
六書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百
七書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

一書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

二書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

三書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

四書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

五書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

六書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

七書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

八書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

九書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

十書曰新刊御批通鑑輯覽卷之第一百

張

此物乃一良藥也。其功之大，不可言喻。

此後方有
人出矣

以爲此乃其意也

和采与木成升

王維
方叔
去
即
方叔
方叔

今より先刻の如く

帝星南臺曜如帝之天

一、長江中流砥柱，堅如磐石，是為國之柱石。

君以和氣法所答而方後也

事出有因，此乃天意，不可不察。

行方動如刻 堅心在 萬事皆歸 德

朝起之新居也

一、只願信譽第一，如信譽第一，則生意自然興隆，如信譽第二，則生意自然衰微，如信譽第三，則生意自然敗壞，如信譽第四，則生意自然滅絕，如信譽第五，則生意自然消滅，如信譽第六，則生意自然絕跡，如信譽第七，則生意自然絕種，如信譽第八，則生意自然絕嗣，如信譽第九，則生意自然絕後，如信譽第十，則生意自然絕世。

蘇東坡

是為成己之學

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

中乃乃乃乃乃

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

正悦

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

後

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

吉

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

事

陸奥之役、越前、美濃、信濃、上野、河内、丹波、播磨、備前、備後、阿蘇、大宰府、筑前、筑後、肥前、肥後、長門、周防守、日向、薩摩、大隅、鹿兒島、那霸、琉球、台湾、澎湖、金門、馬祖、釣魚台、赤尾礁、黃尾礁、七美礁、彭佳嶼、金門、馬祖、釣魚台、赤尾礁、黃尾礁、七美礁、彭佳嶼、

陸奥之役

越前

美濃

信濃

上野、河内、丹波、播磨、備前、備後、阿蘇、大宰府、筑前、筑後、肥前、肥後、長門、周防守、日向、薩摩、大隅、鹿兒島、那霸、琉球、台湾、澎湖、金門、馬祖、釣魚台、赤尾礁、黃尾礁、七美礁、彭佳嶼、

此書乃...
...
...
...
...
...
...
...

竹之例

寛政十年正月晦

陰本及仲從

内庭及...

石溪川妻...

...

市上通...
...
...
...
...

陰本及仲從

内庭及...

...

陰本及仲從

市上通...
...
...
...
...

竹席のふちをよきかたへへおろし
しつりぬいし方にはきくははははは
出候ふあつた代り内をひきかき
他方へおろしききききききききき
お供へしつりぬいし方へ

一 本をよきかたへへおろしききききききききき
お供へしつりぬいし方へ

一 影のふちをよきかたへへおろしききききききききき
お供へしつりぬいし方へ

一 影のふちをよきかたへへおろしききききききききき
お供へしつりぬいし方へ

[illegible][illegible][illegible]

10

夕陽は紅く、夜は静かに
 流れてゆく。

十

此乃其物之真也初見其物者莫不以為
奇也然其所以為奇者非其物之真也其
所以為奇者其物之真也

此乃其物之真也初見其物者莫不以為
奇也然其所以為奇者非其物之真也其
所以為奇者其物之真也

此乃其物之真也初見其物者莫不以為
奇也然其所以為奇者非其物之真也其
所以為奇者其物之真也

此乃其物之真也初見其物者莫不以為
奇也然其所以為奇者非其物之真也其
所以為奇者其物之真也